



学校だより

浮舟

u k i f u n e

令和6年6月4日(火)
第9号

〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1
TEL 0244-44-2023



相双地区中体連総合大会が行われます

明日5日(水)から6日(木)にかけて(一部競技のみ11日(火)に3日目)、第67回福島県中学校体育大会相双地区予選大会が行われます。本校からは男女ソフトテニス部が団体戦(初日)と個人戦(2日目)、そして男女卓球部が個人戦(2日目のみ)に出場します。これまでの練習の成果を十分に発揮できるよう期待しています。また、試合に勝敗はつきものですが、選手たちには勝敗だけでなく、スポーツマンシップとしての価値を得る大会としてほしいと思います。それは以下のような思いからです。

野球では「ノーヒット・ノーラン」という記録があります。1本のホームランはおろかヒットも許さず、相手を0点に抑え勝利することです。これは投手力や守備力に優れ、かつここぞというチャンスで得点できるチームがなし得る価値ある記録です。

【6/3選手壮行会の様子】

ところがそれを上回る「完全試合」という記録もあります。これはフォアボールやエラーなども1つも出すことなく、相手チームに一人のランナーも出すことなく勝利する正に大記録です。こんな大記録は先ほどのノーヒット・ノーラン以上に、まれに見るような鍛え上げられた百戦錬磨のチームが成し遂げるのだろーと思っていました。ところが、この完全試合には実はもう一つ絶対必要条件があると聞いて驚いたことがあります。それは、敗者となった相手チームの力です。まれにみるような鍛え上げられたチームを相手にして、9回で合計27個のアウトをしっかりとれる相手チームがいなければ完全試合は成し遂げられないというのです。考えてみれば、野球は通常9回の攻防によって試合が成り立ちます。ですが地区大会のような7点以上の大差がつき、5回の試合成立後に途中で終わってしまうコールドゲームになってしまうと、記録とはなりません。また、相手が余りに強すぎると萎縮し、はなから試合を棄権してしまうこともない話ではありません。さらに、試合の途中で相手チームが完全に試合をあきらめてしまい、だらけた態度や逆に審判のジャッジや相手チームに悪態をつくような態度で試合をしていたら、せっかくの完全試合での勝利も、大記録と呼ぶには恥ずかしいようなお粗末な結果になることも考えられます。そう考えると日本のプロ野球やメジャーリーグで完全試合が成立することも、ある意味分かる気がします。つまり、当然敗者なくして勝者はなく、素晴らしい勝ち方の陰には必ず誇りある負け方がある



いうことを意味しているわけです。精一杯試合に臨むことはもちろんのこと、気持ちよく勝てた時は負けた相手のフェアプレイのお陰であることに感謝し、負けて悔しい思いをした時は、力及ばず打ち破った勝者を心から称える気持ちを忘れないでほしいと思います。

3年生にとっては最後の大会となります。体調を整え、全力を尽くして試合に臨んでください。保護者の皆様からの励ましと、当日のご声援をよろしくお願いたします。